

読解問題の解答 01月4週（ケヤキ）

問1の答え 2

問2の答え 2

問3の答え 1

問4の答え 2

問5の答え 2

問6の答え 1

問7の答え 1

問8の答え 2

【まちがえやすい箇所の解説】

問7の正解率が低かったのは、文章の後半になって読むのにくたびれた人も多かったためだと思います。
長文には、擬態の方法が二つ書いてあります。「周りにいる危険な虫に似せる方法」「周りの植物などに似せる方法」。
一見、1も2も正解のように見えます。しかし、設問には、「シャクトリムシやナナフシはどのような方法か」となっているので、「周りにいる危険な虫に似せる」という方は間違いです。
シャクトリムシやナナフシの様子が思い浮かべられれば、正解率はずっと上がったと思います。図鑑などでこれらの虫の様子を見ておきましょう。
次回2．4週は、読解マラソン集の5～8番から出題する予定です。

読解問題の解答 02月4週（ケヤキ）

問1の答え 3

問2の答え 4

問3の答え 3

問4の答え 1

問5の答え 4

問6の答え 1

問7の答え 4

問8の答え 3

【まちがえやすい箇所の解説】

今回は、4編の中から選んだので、普段読解マラソン集をそれほど読んでいない場合は、分量が多くて解くのが大変だったと思います。
時間がかかる場合は、最初の数問に絞って解くということでもかまいません。点数は低くなりますが、点数よりも自分が無理なくできる範囲でやるというようにしてください。
正解率の低かった問題の解説です。

問1
A 同じ種類のアリは仲間だが、違う種類のアリは、敵どうしである。……×
B アリは、自分と同じぐらいの重さのものなら、楽に持ち上げることができる。……○
両方とも○○とした人が多かったようです。
Aは、「同じ巣」のアリは仲間ですが、「同じ種類」でも巣が違えば敵どうしになるので×です。これは、難しかったようです。
Bの「自分と同じぐらいの重さのもの」は、長文にある「自分のからだの二倍ぐらいの重さのもの」の十分条件になっています。
例えば、「犬→動物」という矢印は、常に成り立ちますが、「動物→犬」という矢印は必ずしも成り立ちません。だから、Bは○です。

問2
A アリは、自分と同じぐらいの大きさのものなら、楽に持ち上げることができる。……×
B サスライアリの通ったあとは、ニシキヘビだろうと皮だけになってしまう。……×
○×と答えた人が多かったようです。
Aは、「同じぐらいの重さ」のものなら持ち上げることができますが、「同じぐらいの大きさ」のものは、必ずしも持ち上げられるとは限らないので×です。これも、難しすぎたようです。○×と答えた人も、正解と同じと考えてよいでしょう。

問3

- A カエルやヘビは、冬になるとえさが少なくなるので、冬眠する。……×
- B 冬になって気温が○度近くになっても、人間の体温は夏のころと同じである。……○
- と答えた人が多かったようです。
- Aは、「カエルやヘビ」は、体温が下がるので冬眠します。「えさが少なく」なるために冬眠するのは、クマやリスです。これも、よく読まないと難しかったかもしれません。

読解問題の解答 03月4週（クリ）

- 問1の答え 1
- 問2の答え 2
- 問3の答え 2
- 問4の答え 1
- 問5の答え 2
- 問6の答え 2
- 問7の答え 1
- 問8の答え 2

1～3月

小1	PDF	nane		小2	PDF	nane		小3	PDF	nane	
小4	PDF	nane		小5	PDF	nane		小6	PDF	nane	
中1	PDF	nane		中2	PDF	nane		中3	PDF	nane	
高1	PDF	nane		高2	PDF	nane		高3	PDF	nane	